

松陵

秋田県立能代高等学校同窓会
事務局
〒016-0184 能代市高塚2-1
能代高等学校内
TEL 0185-54-2230
FAX 0185-54-2231
題字は神馬前会長

同窓会員の皆様へ



同窓会長 田中 仁純
(第二十五期)

能代高校同窓会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。今年には昭和三十六年の「まごころ国体」から四十六年ぶりの「秋田わか杉国体」が開催されました。秋晴れのもと天皇・皇后両陛下ご臨席をおおき九月二十九日開会式が行われました。能代市・山本郡はバスケットと軟式野球の会場となり連日の熱戦と地元声援に盛りあがりしました。わけても能代工業の地元での全国優勝五十八回目を飾ることができました

名する式典が行われました。球場に個人名が刻まれることは全国でも稀であり、わずかに「スタルヒン球場」外二、三球場と言われます。命名から式典まで同窓の関係者がかかわりました。山田久志氏は「この上ない名誉、これからも郷土の発展に寄与したい」と語っておられました。山田氏の後輩は昨年の新人戦を全県優勝で飾り、今年も東北大会出場をはたし、確実に甲子園を手元に引きつけつつあります。

さて、同窓会事務局の件ですが、体制作りも着々と整いつつあります。十月一日をもって、母校の正面入口に「同窓会事務局」の看板を掲げました。ささやかなことですが、これが在校生の同窓会への意識発揚につながり、同窓会役員はじめ幹事等、より多くの会員による運営の端を拓くことなればと感じています。

母校はここに来て校是「文武両道」に向って大いに意気が上っています。生徒に「夢と志」を持たせたいとする井上校長の「Will Project」の提唱も着実に浸透しつつあり、同窓会の持っている組織を動員してさらに大きく飛翔する母校のために活用出来るかと思っているところであります。同窓会員の限らないご協力を切にお願い申し上げます。

着実な変化

校長 井上 高廣



同窓会の皆様には常日頃から物心両面に涉りご支援を頂き誠に有難うございます。各支部の同窓会に出席し、卒業生の皆様のご活躍に能代高校の歴史と伝統の重みを実感しております。本部同窓会は、ホームページが充実し、学校の玄関には同窓会事務局の看板が掲げられ、担当の方が定期的を訪れて業務を遂行しており、田中会長を中心に組織の充実ぶりが伺えます。

学校では、生徒達が校是である「文武両道」を大切にし、伸び伸びと生活を送っております。文武の「文」の面では、今春、東大、京大、一橋大各一名をはじめ過去最高の国立合格者一二一名を出しました。

部活動の面では、硬式野球部が昨年秋に全県大会で三十年ぶりの優勝を果たし、夏の大会を期待されましたが残念ながら三回戦で敗れてしまいました。今秋には二年

連続の東北大会出場を果たし、近い将来皆様のご期待に応えてくれるものと思います。また、伝統の体操部、柔道部もインターハイ、国体に出場し活躍しております。

私は、毎日昼休みに生徒と面談をしています。能力的にも人間的にも魅力に満ちた生徒が沢山いて、このような生徒たちと出会えた幸せを感じて暮らしています。この持てる能力・魅力を最大限伸ばしてあげるのが我々教員の務めと考えています。昨年九月月をかけて本校の将来構想を検討し、今年「Will Project」として立ち上げ、活動を始めました。本校の生徒から首相やノーベル賞受賞者を出したい。地元秋田県や能代を活性化させるような人材を育てたい。壮大な夢の達成に、多くの同窓生のご協力が必要です。依頼がありましたら心からお願いいたします。

平成20年 能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

- ◎日時 平成二十年一月二十五日(金)
- ・講演会 午後五時三十分
- ・講師 佐藤 了氏(三十七期 秋田県立大学教授)
- ・演題 「自然共生型社会への胎動」
- 秋田県の花運動の現状と今後の課題—(仮)
- ◎会場 料亭「金勇」(能代市柳町)
- 電話 〇一八五—一五五—三三五五
- ◎会費 四、〇〇〇円(当日持参)
- ◎当番幹事は三十七期・四十七期です。参加申し込みは、各期幹事、または同窓会事務局へ連絡してください。
- 同窓会事務局 電話 〇一八五—五四—二三三〇
(能代高校内) FAX 〇一八五—五四—二三三一

第であります。最後になりましたが、同窓会員の皆様のご健勝と 致します。

ご活躍を祈念致しまして挨拶と